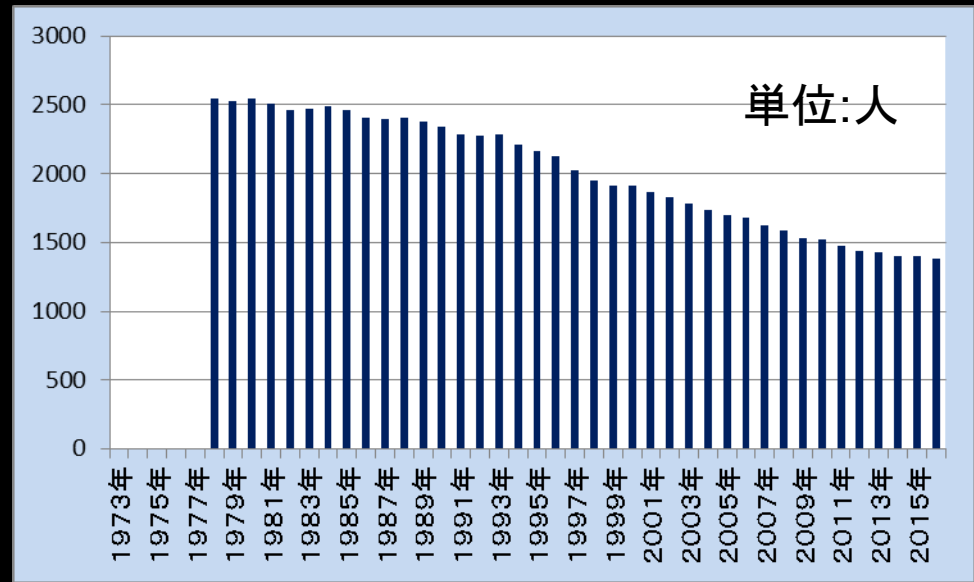


番外編: どうする住み手の老いに対しては

1. 新狭山ハイツの社会的状況の変化

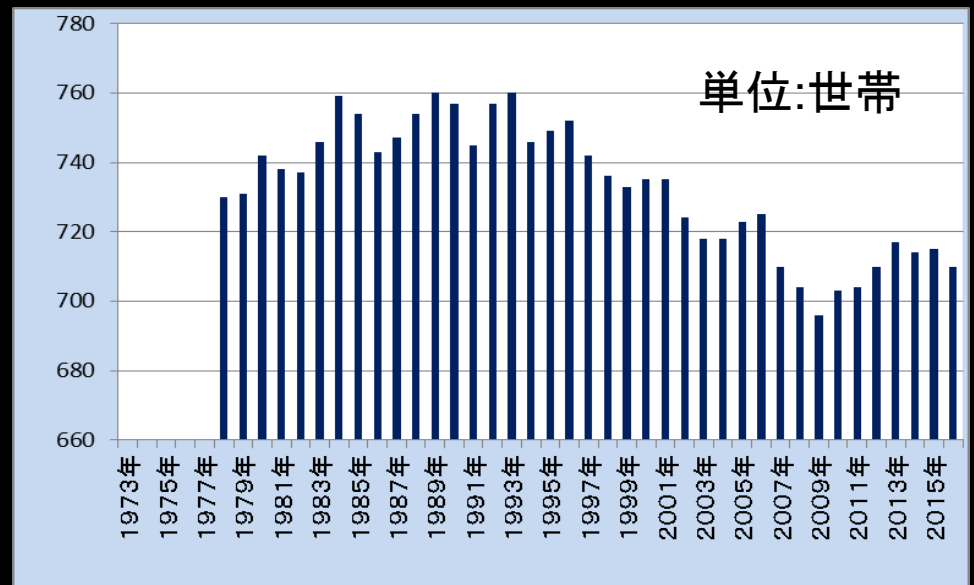
〈人口の推移〉

- ・現在の人口は1,384人。
ピークの46%。
- ・近年は横ばい傾向。
- ・高齢化率は44%。



〈居住世帯数の推移〉

- ・現在710世帯。ピークに対して49世帯減。
- ・近年は若干増加傾向。
- ・転入は若い世代が多い。
- ・空き家は55戸。



2. コミュニティ活性化に向けた新たな挑戦

- ・団地で誕生した「NPOグリーンオフィスさやま」(平成15年)が自治会や管理組合法人とも協働し、「**団地再生を考えるプラットフォーム**」を提供。
- ・そこから見えてきたコミュニティの課題を解決すべく下記の3つのアクションを展開>
 - (1)アクション1:平成23～25年度
 - (2)アクション2:平成25～26年度
 - (3)アクション3:平成29年度

(1)アクション1:平成23~25年度

- ・埼玉県の補助事業「地域課題解決型協働事業」(補助金:120万円)を活かして『新生ハイツ35年プランの作成とその推進』に取り組む。

<主な取り組み成果>

①たまり場機能の強化

→既存のたまり場+集会所改修しコミカフェ・ココベリーの開業

②住民福祉体制の拡充

→既存の生活支援・たすけあいの輪+買物支援サービスに着手

③環境の付加価値化

→既存の花壇(8か所)+里親制度による花壇(2か所)増設

④文化的環境の向上

→既存の手作り作品展の拡充、ブックスタートに着手

⑤情報受発信機能の強化

→蓄積情報のアーカイブス化、HPの拡充

⑥空き室流動化の促進

→ハイツの魅力掲載のチラシ作成・配布



たまり場機能の強化・コミカフェ



福祉の充実・買物支援サービス



環境の付加価値化・里親花壇

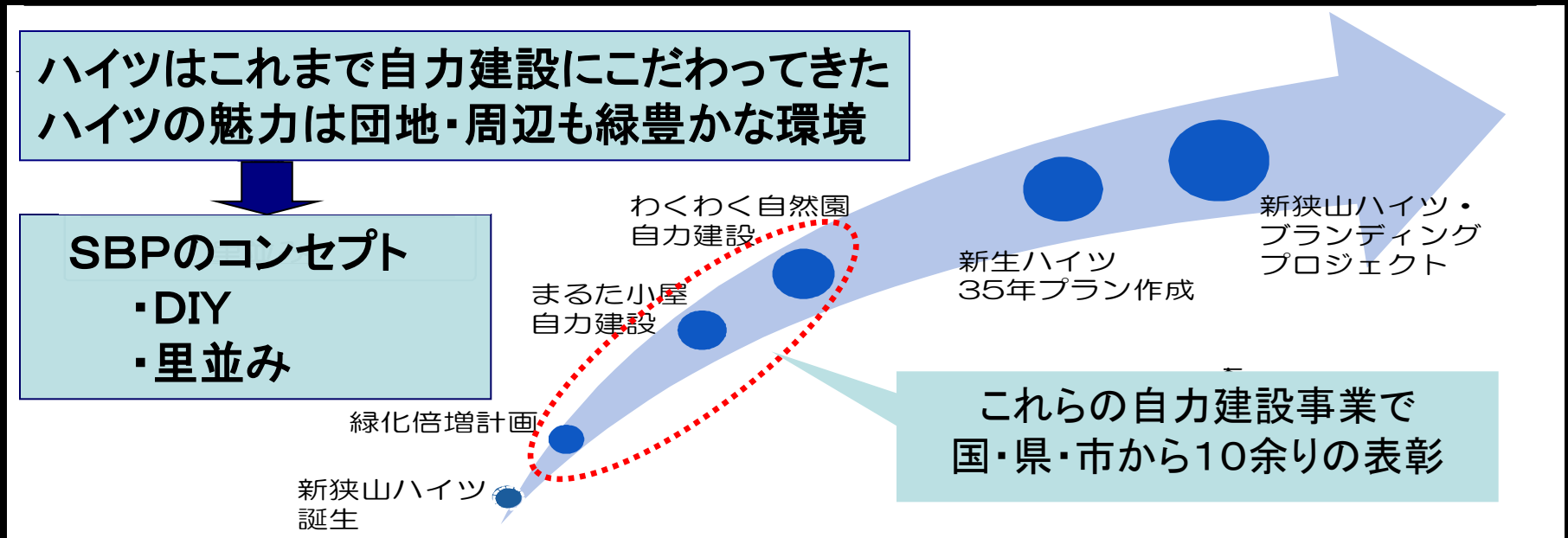


文化的環境の拡充・ブックスタート

(2)アクション2:平成25~26年度

- ・国交省の補助事業「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」(補助金:337万円)を活かし、『新狭山ハイツ・ブランディングプロジェクト(SBP)』に取り組む。

<取組のコンセプトと主な成果>



DIYの活動拠点「工房」の改修&イベントの開催、おたがいさま里食堂の開催・はいつ特命大使の任命・空き室リノベーションの推進

はいつ特命大使の公募・任命

- ・はいつ特命大使を公募→3名を任命・シェアハウスに入居→その後交代はあるものの、現在女性3名入居。
- ・大使の役割はブログでハイツや狭山市の魅力を発信することが条件。こうした取り組みが注目され、毎日新聞・東京新聞・読売新聞に掲載。



シェアハウスのオーナーは「団地生活デザイン」の山本氏
※入居者負担：部屋代3万円
＋光熱水費7千円)



DIYの活動拠点として工房の改修・DIYのイベントの開催



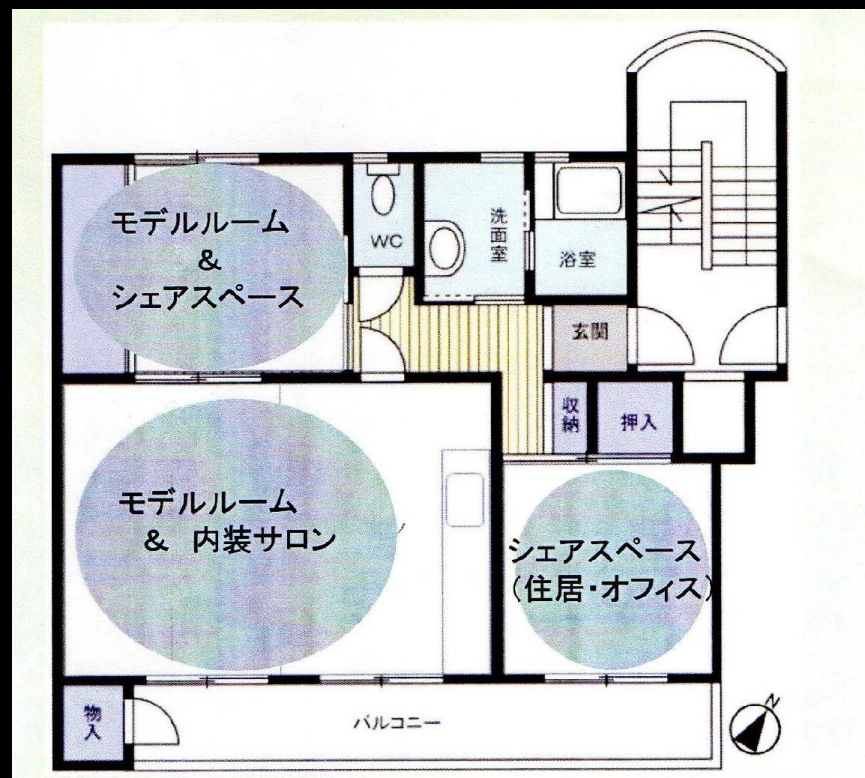
里でみんなでお収穫・調理・旬菜を楽しむ・おたがいさま里食堂の開催

(3)アクション3:平成29年度

- ・ハウジングアンドコミュニティ財団の助成金(110万円)を活かし「**団地版空き部屋バンクと空き部屋モデルルームづくり**」に取り組む。



モデルルームで内覧会と相談会を開催。内装ワークショップも開催。



持ち主から5年間サブリース(家賃:15,000円)し、モデルルームとしてリノベーション。

空き部屋相談会では、空き部屋活用のご相談も行っています。
みなさまの状況やご意向に応じて、今後のご提案をしています。

ご提案例①

空き部屋バンク

新狭山ハイツ版【空き部屋バンク】への登録とウェブサイトへの掲載。
SBPの活動によって“ハイツに住んでみたい”と考えはじめた方と、空いているお部屋とをマッチングします。



ご提案例②

片づけ・クリーニング

売却するつもりだけれど、お部屋には家財道具がたくさんあって、ひとりではどうしようもない。
そんな方の片づけのお手伝いをいたします。



ご提案例③

サブリースによる賃貸

誰も住んでいなくても、毎月の出費は無くなりません。
その出費分を家賃としてもらって、あとのお部屋の改装や入居募集はおまかせという賃貸のスタイルがこちら。
サブリース（転賃）によるお部屋の活用方法です。



改装例①



改装例②

NPO法人グリーンオフィスさやまの

空き部屋管理サービス

- ・新狭山ハイツに空き部屋を持っているんだけど…
- ・家族と同居するから、近々空き部屋になりそう…
- ・予定はないけど、いざ引っ越すときにはどうしよう…



こんな悩みがあるけど、
どこに話をすればいいのかわからない…
そんな時は…

空き部屋相談会 @ 内装サロン (24号棟306)へ

相談は無料です。お気軽にお越し下さい。

- ・月1回の定期開催 7月は 7/30 (日) 13-16時
- ・その他、ご予約による個別相談も承っています。

空き部屋管理メニュー

裏面も
ご覧下さい

通常管理	郵便物の確認 (転送・チラシ処分)	月額 2000円 (月1回訪問)	
	室内状況確認		
	室内簡易清掃 (掃き掃除等)		
	窓開け、換気		
	封水 (水持参)		
	ベランダ状況確認		
オプション管理	報告書の郵送/メール	別途打合せ	
	緊急時 (漏水、点検等) 対応		
	清掃 (ベランダ等)		別途打合せ
	簡易修理 (パッキン交換等)		別途打合せ
	専用庭手入れ		別途打合せ
	その他ご相談に応じて		

運営団体 : NPO法人グリーンオフィスさやま (NPOじおす)
新狭山ハイツ・プランディングプロジェクト (SBP)

SBPでは、【里並み】と【DIY】、この2つを新狭山ハイツの暮らしの魅力と捉えて新狭山ハイツをプランディングし、新たな入居者を集めることに取組んでいます。

お問合せは、NPOじおす代表 毛塚宏 (090-3962-3840)
SBP担当 山本誠 (080-3732-1341)

本事業は、H29年度
ハウジングアンドコ
ミュニティ財団の助
成を受けています。

ご関心のある方は下記へアクセスして下さい

- ホームページ: <http://www.go-sayama.net>
- Email: momo.kezuka@nifty.com